

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	東日本大震災伝承活動支援事業		
政策	過去に学びみんなが命を守るまち/防災意識の向上	担当課	文化振興課
施策①	迅速かつ確実な避難行動を行える防災意識の醸成	電話番号	0193-27-7567
施策②	東日本大震災の検証と風化防止に向けた取組	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	防災まちづくりの推進	新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和8年度		
事業の概要			
震災の記憶と経験を後世に伝えるとともに、その教訓が今後の防災まちづくりに活かされ、防災力向上へとつながること、及び家庭や地域での防災意識向上につながる活動が活性化されることを目的とし、「いのちをつなぐ未来館」の指定管理者である株式会社DMCが実施する、防災学習プログラムの提供における震災伝承活動や職員のスキルアップに対し、補助金を交付し活動の後押しを行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
震災の記憶や教訓の風化により、今後の大災害発生に備えるための防災意識が薄れている。
目的
市民の防災意識の向上により、生活から身を守る知恵（災害文化）が市民生活の中に深く浸透し定着する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
補助金の交付（各年度：1,000,000円）		
事業費		
R 7	R 8	R 9
1000千円	1000千円	0千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
東日本大震災を風化させないための取り組みは、今後も継続して行っていく必要がある。伝承活動を行っている団体への補助金の交付は効果的であるものの、市内外へのアプローチの仕方などを含め、向上の余地がある。今後の事業展開を見据えたうえで、運営費と語り部の活動とを切り分けて考え、市内・市外それぞれへのアプローチを意識し、事業を展開されたい。			